

指定管理者評価シート

事業名	こども劇場管理運営	所管課(電話番号)	子ども未来局子ども育成部 子どもの権利推進課(211-2942)
-----	-----------	-----------	-------------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市こどもの劇場「やまびこ座」	所在地	東区北27条東15丁目
開設時期	昭和63年6月	延床面積	1495.37㎡
目的	人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他活動に資する。		
事業概要	人形劇等の制作・発表の場の提供、人形劇等の制作に関する指導ならびに資料収集・提供情報、講演会・展示会・講座		
主要施設	ホール、会議室(1室)、研修室(1室)、美術工作室(1室)、ロビー・展示室		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 札幌市こどもの劇場「やまびこ座」は、全国でも数少ない子ども専用劇場として、子どもを対象とした人形劇、児童劇等を専門に取り扱う施設であるという特殊性から、指定管理者には貸館業務にとどまらず、専門的知識や豊富な経験を有する適正な人材を確保し、指定管理者自らが人形劇、児童劇等の制作及び発表を行うこと、並びに担い手である制作団体を育成することが求められ、特に担い手の育成については専門性と継続した取組が不可欠であるため。		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、事業の計画・実施業務、施設の使用承認業務等		
3 評価単位	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市こどもの劇場やまびこ座は、「人形劇、児童劇等の児童文化の創造の場として、より優れた子どものための舞台芸術を提供し、子どもたちの情操のかん養を図り、健全な育成に資する」という理念のもと、児童文化の創造拠点としての役割を明確にし、子どもの多様な舞台体験の拡充及び制作団体の育成を基本方針として策定した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>市民のための劇場づくり、利用者目線での施設運営を基本方針とし、誰でも、いつでも利用することが可能なオープンで温かみのある職員対応を心掛けた。また、制作団体に対しては、施設をいつでも利用可能な状態にし、作品に対してのアドバイスを常時行った。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>環境行動計画を策定し、6ヶ月ごとにチェックを行っている。夏場における冷房の節約に取り組みや、冬場においては昨年度と同様にロードヒーティングの設定調整を随時行い、電気量の節約、環境への配慮を行った。</p>	<p>・こどもの劇場やまびこ座が設置された理念に基づき、基本方針を策定した。市民にとっての劇場のあり方や地域での劇場としての役割をより具体化し、職員が一丸となって共通意識のもと取り組み、親しみある温かい劇場づくりを心掛けた。その成果として、来場者等のアンケートでも非常に高い評価をいただいている。</p> <p>・環境行動計画に基づき、電気、灯油、水道等の節約、クールビズ、ウォームビズの推奨、ごみの減量など環境に配慮した取り組みを行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>施設の設置目的及び基本的方向性、機能を実現するとともに、市民サービスの向上、経費の縮減を図る上での基本方針が明確化されている。</p> <p>また、施設の特徴を踏まえ、平等利用と良質な作品提供の確保のための方針等が立てられており、節電への取り組みも独自の工夫がなされている。</p> <p>今後も施設の設置目的に基づいた施設管理を継続して行っていくこと。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者1名配置。 ・事務分掌、緊急連絡体制等を定めた。 ・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会研修計画に基づき、専門性の向上について、実務を通じた研修を積極的に推進し、職員の資質向上に努めた。また、外部の研修にも積極的に参加した。 ・全国及び海外の人形劇関係機関及び児童文化関係施設との連絡を密にし、職員の専門知識の向上に努めた。 <p>1)被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」における職員派遣(劇場課6名、他課職員9名):研修を兼ね、被災地での人形劇等の公演を実施した。実施期間:5/19~3/27</p> <p>2)「第57回北海道人形劇フェスティバルin砂川」派遣事業:さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座、ユースクラス、パペットユーススクールを砂川市に派遣し、公演と交流を行う。職員3名研修を兼ね派遣した。実施期間:9/10~11</p> <p>3)「OKHOTSKー終わりの楽園ー」網走公演派遣事業:北海道の人形劇シリーズPart3として制作した演目を、題材であるオホーツク文化ゆかりの地、網走市で公演し、職員4名を研修を兼ねて派遣した。実施期間:12/9~10</p> <p>4)「モイモイ・オーシャン・パラダイス」稚内公演派遣事業:北海道の人形劇シリーズPart2として制作した演目を、稚内市からの依頼で公演を行い、職員3名を研修を兼ねて派遣した。実施期間:2/5</p> <p>5)「2017こども人形劇フェスティバルinSUNAGAWA」に参加。中高生のパペットユーススクール(人形劇団ボンド、人形劇団ビスケット、人形劇団バーコード、人形劇団ベジタブル)が砂川市地域交流センターゆうにて公演と交流を行う。職員4名研修を兼ねて派遣した。実施期間:3/18~20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境の維持向上に努め、職員一人一人が市民サービスの向上に意欲的に取り組めるよう努めた。 <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の定例的な職員会議を実施し、情報の共有及び業務の改善、事業の見直しを行った。また、日常的に情報を共有できるよう、円滑なコミュニケーションに努めた。 ・日常業務の見直しを全職員で行い、施設の安全性の再確認、また、役割分担を行うことで業務の効率化を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更に職員の専門性を高め、職員一人一人が創造者として、利用者に関わっていけるよう資質の向上を目的として、研修を実施した。 ・人形劇や児童劇等、また舞台、照明、音響に関する専門的職員を適正に配置することで、利用者に対して、指導、助言を行い、要望に応える体制を作ることができた。 ・各事業において、職員の専門性と資質向上を目指して、研修も兼ねて派遣し、各職員のスキルアップに繋がった。 	<p>管理運営組織の確立については適切に実施されている。今後も、情報の共有化や日常業務の見直し改善を継続し、管理水準の維持向上に努めていくこと。併せて、不測の事態への対応体制も整えていくこと。</p> <p>また、研修や派遣事業に関しては、子どものための専用劇場という特異な施設であることを念頭において十分な事業が実施されている。今後も継続して、職員の資質を向上させ、利用者満足等に反映されるように努めること。</p>
---	--	---

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正な確保、受託者への適切な監督、履行確認)

《再委託業務の実施状況》

業務名	契約業者名	実施月	契約方法
1 清掃業務	東亜産業株式会社	通年	指名競争入札
2 機械警備業務	帝国セキュリティ株式会社	通年	指名競争入札(複数年契約)
3 自動扉保守点検業務	三和シャッター工業株式会社	7・11・3月	随意契約(少額)
4 空調衛生設備保守点検業務	株式会社日立ビルシステム	9・3月	随意契約(特命)
5 オーバースライダードア保守点検業務	三和シャッター工業株式会社	7・11・3月	随意契約(少額)
6 消防用設備等保守点検業務	株式会社ヤシマ保全	9・3月	随意契約(少額)
7 舞台吊り物及び照明設備保守点検業務	株式会社池下電設	6・3月	随意契約(特命)
8 舞台音響設備点検業務	株式会社池下電設	6・3月	随意契約(特命)
9 除排雪業務	北野興業株式会社	12月～3月	指名見積合せ
10 自家用電気工作物保安管理業務	大崎電気管理事務所	通年	指名見積合せ
11 じん芥収集業務	一般財団法人札幌市環境事業公社	通年	随意契約(特定)

・上記の11業務については、再委託を行い、当該契約に基づき、必要な指導、指示及び検査を行った。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会等の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
第1回運営協議会 10月28日	・平成28年度上半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼
第1回利用者説明会 12月21日	・平成29年度事業についての説明 ・要望事項検討、協力依頼
第2回運営協議会 2月24日	・平成28年度下半期事業実施報告 ・要望事項検討、協力依頼
第1回業務・財務検査 3月16日	・業務報告及び計画、進行状況説明 ・業務・財務検査について

<協議会メンバー>

札幌人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会会員、札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長

・施設の良い維持管理のため、11業務について再委託を行い、すべて良好に業務を遂行されている。現在のところ、開館から28年が経過し舞台設備、館内設備等に故障や修繕箇所が多く見受けられるようになってきた。都度、所管局と連絡を取り合い、修繕計画に基づき対応を図っている。

第三者に対する委託業務等の管理については適切に行われていることから、今後も継続して、施設の良い維持管理に努めること。

・利用者懇談会、関係機関との連絡調整、意見交換会を中心に開催。利用者からの生の声を聞くことにより、運営上の要望、改善点、協力方法等、相互にとって有意義な場となった。また、札幌市による定期的な業務・財務検査を受け、業務改善に努めた。なお、今後も、多くの関係機関と連携し、広く意見を聞く機会を設けることにより、市民サービス向上に努めていきたい。

運営協議会や利用者説明会を実施し、利用者のニーズ把握に努めており、評価出来る。また、有識者からの意見も取り入れることで、事業の充実を見込むことが出来る。今後も引き続き、関係機関との連携を図り、より良い施設運営につなげていくよう努めること。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計検査を導入している。 ・現金等の取扱いについては、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会財務規程に基づき、適正に処理を行っているほか、現金等取扱規程を整備し、事故、不祥事を未然に防ぐように努めている。28年度については、特に問題はなかった。 <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望・苦情対応については、マニュアルを作成し、職員に周知している。 ・市民からの要望・苦情については、意見箱を設置し、常日頃から市民の声を聞くことができる環境を整えている。28年度については、要望・苦情はなし。 <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常日頃から業務実施に関する記録、帳簿等の整備、保管に努めている。(業務日誌、文書管理簿、事業計画書及び事業報告書、収支予算書及び収支決算書、現金出納簿等) ・劇団及び観客、事業参加者に対し、アンケート調査を実施し、常に市民からの声に耳を傾けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民から寄せられた要望、苦情等については、迅速かつ適切に処理できるよう事務フローを作成し、対応している。また、当財団内他施設と連携し、環境整備に努めた。 	<p>資金管理、現金の適正管理については適切に行われている。</p> <p>意見箱を設置し、利用者からの声を施設運営に反映させる仕組みが整えられている。今後も利用者のニーズを的確に把握し、要望・苦情に迅速かつ適切に対応すること。</p> <p>記録・帳簿等の整備、保管、事業等の報告については適切に行われている。</p>				
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設で働く職員に対し、最低賃金786円(平成28年10月1日発行)を上回る800円以上の時給を支給した。 ・全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ・常勤職員に対して1年に1回の定期健康診断を実施し、再検査までの費用負担を行った。 ・指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ・管理職を対象に、コンプライアンスに係るEラーニングによる研修を実施。雇用環境維持向上について知見を深めた。 ・常勤職員全員を対象に、ストレスチェックを実施した。 	<p>・労働関係法令に関する理解を深めるとともに、雇用環境の維持向上に向けた取組を行うことができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>研修を実施するなどし、労働関係法令順守のための取り組みが積極的に行われている。また、雇用環境の維持向上に向けた取り組みも進められている。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 毎日の点検、見回りを行っており、安全確保に努めている。 ▼ 拾得物の取扱いについては、遺失物法及び民法の一部に基づき、事務フローを作成し職員間で取扱いについて再確認し、適正な取扱いを行った。 ▼ 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 上記の11業務は再委託を行い、実施した。 ▼ 敷地内の植木については、普段から美観の保持、安全面、近隣住民への配慮等の点から、適切な維持管理を行った。 ▼ 下記の項目について、札幌市の承認を得たのち、随時修繕を行った。 	<p>・常日頃より館内の点検を行い、管理物件の破損、故障等を発見し、早急に対応した結果、市民サービスに影響が出ることは無かった。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。また、防災についても、防災計画を定め、訓練を行い、日頃から備えている。今後も市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

《修繕工事の実施状況》

	修繕内容	修繕完了日
1	札幌市こどもの劇場光学ドライブ修理業務	4/26
2	札幌市こどもの劇場やまびこ座 女子シャワー室・トイレ入り口修繕業務	5/17
3	札幌市こどもの劇場やまびこ座 車いす用スロープ床タイル補修	5/20
4	やまびこ座PC(yamabiko4)修理業務	5/24
5	札幌市こどもの劇場やまびこ座冷熱部品交換修理業務	6/29
6	キャノンデジタルカメラ修理業務	12/12
7	ワイヤレスマイク修理業務(SAMSON UT5-J)	2/25
8	ワイヤレスマイク修理業務(AT4050/CM5)	2/25
9	図書コーナーブラインド交換修繕業務	3/29

▼ 駐車場内での事故等に十分注意し、利用者以外の進入がないよう、車両の監視、誘導等に努めた。

▼ 煙突断熱材破損物等に係る対応
緊急点検の結果、断熱材から石綿(アスベスト)が検出され、飛散の恐れがあるため2ヶ月間ボイラー停止の措置を取った。利用者に対し、公演前に口頭での状況説明や館内にアスベスト検出についての周知文書掲示、また暖房停止に伴い代替ストーブや毛布等を速やかに設置し、利用者への影響を軽減するよう努めた。

▽ 防災

▼ 防災計画を策定するとともに、6月・1月に防災訓練を実施した。
避難訓練実施日・・・ ①6/21(参加人数19名)
②1/17(参加人数7名)

・日頃より、駐車場を利用する劇団利用者へは注意、安全確認を促した。

・所管局と連携を密にし、早急な対応に努めた。

・災害や利用者の傷病に対する対応については、常日頃より気を配り、突発的な事態にも対応できるよう事前の準備に職員で取り組み、不測の事態に備えている。

<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務</p> <p>【公演事業】</p> <p>▼ 今年度は、公立初の人形劇場こぐま座が、40周年を迎えた記念の年でもあり、こぐま座と協働して「こぐま40周年記念事業」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロデュース公演「OKHOTSK-終わりの楽園-」(札幌演劇シーズン2016参加作品)のロングラン公演。 ・こぐま座40周年夏の特別公演として、道内外の専門人形劇団の招待公演を実施。「人形劇団えりっこ」(札幌市)と「とらまる人形劇団」(岡山県)による公演を実施。また、札幌市内アマチュア人形劇団、児童劇団による40周年記念公演も同時期に開催した。 	<p>・人形劇、児童劇、人形浄瑠璃の各講習会は、子どもから大人まで、各世代ごとに事業を実施した。特に、こぐま座40周年記念事業では、やまびこ座と連携し事業を実施。今後も繋がりを強化し、異年齢交流の機会を増やし、将来の担い手を職員以外の経験者からも育成、継承する機会を創出していきたい。</p> <p>・児童会館での人形劇クラブの指導及び育成では、各人形劇クラブが「札幌人形劇祭」に出場し受賞するなど活動の活性化に繋がった。また新たに人形劇の担い手が誕生することで、新たな観劇者や協力者を獲得することができた。</p>	A	B	C	D																
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">主な公演</th> <th style="text-align: center;">ステージ数</th> <th style="text-align: center;">観客数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>OKHOTSK -終わりの楽園-</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> </tr> <tr> <td>人形劇団えりっこ</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">382</td> </tr> <tr> <td>とらまる人形劇団</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">494</td> </tr> <tr> <td>その他公演事業</td> <td style="text-align: center;">192</td> <td style="text-align: center;">15,629</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">207</td> <td style="text-align: center;">17,505</td> </tr> </tbody> </table> <p>【講座事業】</p> <p>▼ 育成事業については、人形劇、児童劇、人形浄瑠璃を中心にこぐま座と連携しながら実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者のための人形劇講座 屋コースをやまびこ座で実施した。新規劇団の育成、人形劇文化の担い手の育成を行った。 ・東区市民劇団育成事業 より自主的な劇団活動を目指しワークショップなども実施した。10月に前期の成果発表会を行い、その後、3月公演のプロデュース公演につなげていった。 ・人形浄瑠璃講習会、義太夫講習会 共催団体である「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」とともに積極的な連携を図り、文化の担い手を養成した。 	主な公演	ステージ数	観客数	OKHOTSK -終わりの楽園-	8	1,000	人形劇団えりっこ	4	382	とらまる人形劇団	3	494	その他公演事業	192	15,629	計	207	17,505	<p>大人向け、子ども向け両方の事業を実施しており、児童文化の普及や、子どもの健全育成、担い手の育成に努めている。</p> <p>新たな取組として児童会館へ職員を派遣し、人形劇クラブの指導及び育成を行うことは、人形劇の裾野拡大において有意義である。</p> <p>市民や企業等との連携を図り、協賛を得て事業を実施していることを評価する。</p>
主な公演	ステージ数	観客数																				
OKHOTSK -終わりの楽園-	8	1,000																				
人形劇団えりっこ	4	382																				
とらまる人形劇団	3	494																				
その他公演事業	192	15,629																				
計	207	17,505																				
			A	B	C	D																
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">主な事業</th> <th style="text-align: center;">回数</th> <th style="text-align: center;">参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初心者のための人形劇講座</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">177</td> </tr> <tr> <td>東区市民劇団育成事業</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">495</td> </tr> <tr> <td>人形浄瑠璃講習会</td> <td style="text-align: center;">22</td> <td style="text-align: center;">253</td> </tr> <tr> <td>義太夫講習会</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">302</td> </tr> <tr> <td>その他育成事業</td> <td style="text-align: center;">37</td> <td style="text-align: center;">1,038</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">137</td> <td style="text-align: center;">2,265</td> </tr> </tbody> </table>	主な事業	回数	参加人数	初心者のための人形劇講座	20	177	東区市民劇団育成事業	34	495	人形浄瑠璃講習会	22	253	義太夫講習会	24	302	その他育成事業	37	1,038	計
主な事業	回数	参加人数																				
初心者のための人形劇講座	20	177																				
東区市民劇団育成事業	34	495																				
人形浄瑠璃講習会	22	253																				
義太夫講習会	24	302																				
その他育成事業	37	1,038																				
計	137	2,265																				

【子どもの舞台表現活動の推進】

▼ 子ども対象事業については、通年での長期事業と体験型の短期事業を企画したほか、新規事業を実施した。

長期事業として伝統文化関係事業(ざ・にんぎょうじょうりゆうリユースクラス、義太夫講習会中高生の部)、演劇関係事業(やまびこ座遊劇舎、劇☆やまびこ座 YOUTH)を実施した。ざ・にんぎょうじょうりゆうリユースクラスと義太夫講習会中高生の部を同時に実施した。

短期体験型としてはこども舞台体験プログラム『ふれアート』(人形浄瑠璃体験)を実施し、専門の講師による本物の舞台体験機会を数多くの子どもたちに提供することができた。

今年度の新規事業として児童会館と連携し、人形劇クラブの指導および育成を行った。札幌人形劇祭への参加も多く、裾野拡大への大きな一歩となった。通年コース2館、半年コース4館で実施した。

【地域との共生および関係機関との連携】

▼ 地域連携事業として、指導派遣である「元町北小学校アウトリーチ事業」「砂川人形劇指導」など、学校現場や他の施設への人形劇等の指導を実施した。連携した地域の人々が自主的に活動できるよう事業を進め、やまびこ座、こぐま座のPRも含め、つながりを強化していきたい。

(延べ人数)

	講座名	H27実績	H28実績
1	東区市民劇団育成事業	498	495
2	やまびこ座プロデュース公演	745	957
3	人形浄瑠璃講習会	299	253
4	義太夫講習会(一般の部)	484	302
5	やまびこ座遊劇舎	858	707
6	劇☆やまびこ座 YOUTH	540	588
7	ざ・にんぎょうじょうりゆうリユースクラス	374	211
8	義太夫講習会(中高生の部)	25	0
9	こども舞台体験プログラム「人形浄瑠璃三人遣い体験」(2日間)	95	80
10	こども舞台体験プログラム「人形・大道具づくり体験」(2日間)	83	55
11	こども舞台体験プログラム「鳴物体験&舞台裏方&ステージ発表会」(2日間)	75	113
12	砂川人形劇体験プログラム	599	782
13	人形劇クラブの指導および育成		653
14	初心者のための人形劇講座	171	177

▼ 劇場の公演活動の充実や劇団支援、地域連携の活性化

化を目的として協賛金を募る「事業サポーター制度」を実施。

結果、13件の劇団・個人からの協賛と、3件の企業協賛を得た。また、連携事業「こぐま座40周年記念事業」では、42件の劇団・個人からの協賛と7件の企業協賛を得た。

・全体的に事業参加者延べ人数は前年の1割程度増加した。安定的な講座を実施するため、内容を充実するとともに、魅力ある広報活動に努めていく。

・人形浄瑠璃関連事業に若干の減少が見受けられる。中高生のユースクラスについては、受験生が多く、参加人数が減少してしまったことが原因として挙げられる。新規受講者をどのように獲得していくかが課題である。今後広報宣伝活動を強化していく。

・市民とともに作る劇場、地域に根差した劇場運営の観点から、一定の成果が表れていると捉え、今後もこの取り組みを継続、強化していく。

▽ 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

▼ 札幌市内及び北海道内における児童文化関係団体や人形劇協議会等の活動調査、全国の公立人形劇場、児童文化活動の調査を行い、広い視野に立った子どものための舞台活動の研究に努める。また、関係機関の情報収集に努め、資料の整理を随時行い、市民からの要望があれば、閲覧可能とした。

▼ 被災地支援活動を継続実施。劇場という文化施設だからこぞできる支援や、人々や地域の活性化につながる文化の重要性を再認識する事業となっている。5月のゴールデンウィークにやまびこ座、こぐま座にてチャリティー公演を実施し、5月、6月、8月、9月、10月、11月、2月、3月に福島県内各施設(幼稚園、保育園、公共施設、仮設住宅等)にて人形劇、伝統人形芝居の公演を実施した。また「やまびこ座、こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクト」との連携により人形浄瑠璃や人形劇の体験機会を提供することができた。

また、昨年度から引き続き、福島県内3ヶ所において、人形劇団や被災地の市民グループ、公共施設、そして当財団の児童会館や他課職員と連携を図り、地域交流イベントを実施。被災地域の方々と交流しながら事業を実施することで、支援のあり方について新たな可能性が広がった。今後も被災地の声を汲み取った支援を行っていく。

▼ 北海道の各地域に伝わる歴史を題材とし、質の高い人形劇の創造と市民への提供を目的として、またこぐま座40周年記念事業の一環として、7月にやまびこ座・こぐま座プロデュース人形劇『北海道の人形劇シリーズPart3』『OKHOTSK～終わりの楽園～』を、8月に『北海道の人形劇シリーズPart2』『モイモイ・オーシャン・パラダイス』を実施。ともに、観客数が多く好評であった。

▼ 3月に砂川市地域交流センターゆうで実施された砂川人形劇フェスティバルに参加。パペットユーススクールから人形劇団バンド、人形劇団バーコード、人形劇団ベジタブルが参加し、公演と地域の同年代劇団との交流を行った。

▼ 札幌国際プラザからの依頼を受け、「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」の協力を得ながら、6月と10月に姉妹都市であるポートランドとの国際交流事業を実施。人形浄瑠璃を通して、ポートランドの高校生と「ざ・にんぎょうじょうりゆうクラス」の交流や訪問団とあしり座の交流。そしてやまびこ座の見学を実施。今後につながる文化交流の機会となった。

▽ 劇団育成支援に関する業務

▼ 劇団支援策として「札幌市こどもの劇場やまびこ座支援事業」を実施した。各劇団のホール・研修室・美術工作室・会議室利用について、使用料の一部を負担した。

※申請件数150件、利用区分件数749件

▼ 12月に利用者説明会を開催した。劇団側からの要望を直接聞くことができた。

▼ 市民ボランティア登録者が52名。読み聞かせ、スタンブラー指人形制作、公演時の受け付け、会場整理、夏まつり等の事業スタッフとして活躍した。

関係団体等の調査や情報収集、資料の公開等、舞台活動の拡充に対する取り組まれており、評価できる。引き続きプロデュース人形劇をはじめ、市民ニーズを捉え、人形劇文化の発信に努めること。

・やまびこ座とこぐま座だけでなく、活動協会全体で支援活動を行うことで、今後につながる支援活動を実施することができた。

・人形劇という想像の枠を超え、人形劇の可能性を広げるものとなった。人形劇が子どもだけではなく、芸術性豊かな作品として大人へも感動を与える作品となった。

・次年度以降についても支援事業を実施していく。申請件数は前年度とほぼ同数だった。今後も利用者懇談会等を活用し、劇団側に十分な説明を再度行い、施設の利用を推進していく。

・ボランティア登録数が前年に比べ大幅に増加した。今後、講習会の内容を一層充実させ、効果的なボランティア支援を実施していく。

安定的な公演数を確保し、より魅力的な公演を提供できるよう、引き続き劇団育成に関する支援を継続していくこと。

(5)施設利用に関する業務	<p>▽ 人形劇等に関する指導、相談業務</p> <p>▼ 人形劇、演劇等の制作のための技術的指導ができる職員を配置し、日頃から人形劇、児童劇等について、指導、助言ができる体制づくりに努めている。公演時や練習時等において、アドバイスをし、劇団側と協働してより良い作品づくりを目指している。また、各種講座等を実施し、より多くの市民の方々が児童文化に携わり、担い手として育つことができる環境を整えている。</p>	<p>・公演や練習、リハーサル、製作時など、普段からアドバイスを行っていくことで劇団側と信頼関係を築き上げ、より良い作品創造に繋ぐことができた。</p>																																																																																																								
	<p>▽ 利用件数等</p> <p>・公演回数・観客数 (回・人)</p> <table border="1" data-bbox="352 510 911 719"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上演回数</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>出演者数</td> <td>10,413</td> <td>10,000</td> <td>12,097</td> </tr> <tr> <td>観客数</td> <td>17,427</td> <td>18,000</td> <td>17,505</td> </tr> <tr> <td>上演1回当たりの観客数</td> <td>87.1</td> <td></td> <td>84.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>・室別利用状況 (件)</p> <table border="1" data-bbox="352 797 911 1496"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ホール</td> <td>件数(件)</td> <td>694</td> <td>700</td> <td>721</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>27,840</td> <td>28,000</td> <td>29,602</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>79.8</td> <td></td> <td>82.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">会議室</td> <td>件数(件)</td> <td>332</td> <td>400</td> <td>398</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>2,716</td> <td>2,000</td> <td>3,021</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>38.2</td> <td></td> <td>45.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">研修室</td> <td>件数(件)</td> <td>520</td> <td>550</td> <td>536</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>8,557</td> <td>7,600</td> <td>9,241</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>59.8</td> <td></td> <td>61.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">美術工作室</td> <td>件数(件)</td> <td>523</td> <td>550</td> <td>625</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>7,802</td> <td>7,000</td> <td>8,544</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>60.1</td> <td></td> <td>71.5</td> </tr> <tr> <td>ロビー等</td> <td>人数(人)</td> <td>11,839</td> <td>10,000</td> <td>11,208</td> </tr> <tr> <td>研修見学</td> <td>人数(人)</td> <td>466</td> <td>400</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>件数(件)</td> <td>2,069</td> <td>2,200</td> <td>2,280</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>59,220</td> <td>55,000</td> <td>61,920</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 主催事業、主催公演の際、他の公演、事業への呼びかけを行い、宣伝等に努めた。</p>		H27実績	H28計画	H28実績	上演回数	200	200	207	出演者数	10,413	10,000	12,097	観客数	17,427	18,000	17,505	上演1回当たりの観客数	87.1		84.6			H27実績	H28計画	H28実績	ホール	件数(件)	694	700	721	人数(人)	27,840	28,000	29,602	稼働率(%)	79.8		82.5	会議室	件数(件)	332	400	398	人数(人)	2,716	2,000	3,021	稼働率(%)	38.2		45.5	研修室	件数(件)	520	550	536	人数(人)	8,557	7,600	9,241	稼働率(%)	59.8		61.3	美術工作室	件数(件)	523	550	625	人数(人)	7,802	7,000	8,544	稼働率(%)	60.1		71.5	ロビー等	人数(人)	11,839	10,000	11,208	研修見学	人数(人)	466	400	304	合計	件数(件)	2,069	2,200	2,280	人数(人)	59,220	55,000	61,920	<p>・上演回数は、目標数である200ステージを確保することができた。市民ボランティアによる「やまびこ座たのしませ隊」や物品販売のオリジナルグッズ製作による市民サービスを継続した。次年度も継続実施によるリピーターの増加に努めていきたい。</p> <p>・利用者総数が6万人を超える結果となり、一定の成果が出たと考える。今後も、利用者増へ向け絶え間ない努力を続けていく。</p> <p>・ホールの利用状況については、件数・人数ともに増加した。他の貸室についても全ての貸室について件数・利用人数ともに増加した。今後も支援事業費を活用し、育成団体にとって利用しやすい施設づくりを推進していきたい。</p> <p>・スタンプラリー実施結果は、新規・リピーターともに増加した。こぐま座40周年記念に10回目の来場で、1つ指人形を提供される特典が効果的だった。今後も一層リピーターの確保も行っていく。</p> <p>・上演内容としては、人形劇：児童劇＝6.8：3.2の割合となった。人形劇だけでなく演劇や伝統文化を実践する担い手が、子どもたちに対し良い文化を提供する意識を育むことができた。</p> <p>・市民に対する児童文化の発信を継続的に行っていくため、今後も次世代の担い手やボランティアの育成に積極的に取り組んでいく。</p>	<table border="1" data-bbox="1232 432 1414 472"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者総数が、6万人を超えるなど、概ね計画を達成している。引き続き市民サービスの拡充をはかるとともに、公演の魅力を増加させ、さらなる利用拡大に努めること。</p>	A	B	C	D			
	H27実績	H28計画	H28実績																																																																																																							
上演回数	200	200	207																																																																																																							
出演者数	10,413	10,000	12,097																																																																																																							
観客数	17,427	18,000	17,505																																																																																																							
上演1回当たりの観客数	87.1		84.6																																																																																																							
		H27実績	H28計画	H28実績																																																																																																						
ホール	件数(件)	694	700	721																																																																																																						
	人数(人)	27,840	28,000	29,602																																																																																																						
	稼働率(%)	79.8		82.5																																																																																																						
会議室	件数(件)	332	400	398																																																																																																						
	人数(人)	2,716	2,000	3,021																																																																																																						
	稼働率(%)	38.2		45.5																																																																																																						
研修室	件数(件)	520	550	536																																																																																																						
	人数(人)	8,557	7,600	9,241																																																																																																						
	稼働率(%)	59.8		61.3																																																																																																						
美術工作室	件数(件)	523	550	625																																																																																																						
	人数(人)	7,802	7,000	8,544																																																																																																						
	稼働率(%)	60.1		71.5																																																																																																						
ロビー等	人数(人)	11,839	10,000	11,208																																																																																																						
研修見学	人数(人)	466	400	304																																																																																																						
合計	件数(件)	2,069	2,200	2,280																																																																																																						
	人数(人)	59,220	55,000	61,920																																																																																																						
A	B	C	D																																																																																																							

<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ ホームページのアクセス数は60,559件で、前年度の49,943件と比べて約1.2倍という結果になった。近年、アクセス数が毎年伸びている。親世代が公演情報などを調べる際に、気軽にインターネットが使用できる環境が普及していることが要因と考えられる。 また、新規のアクセスが57%と、前年よりも割合が増えた。今後も新規利用者獲得へ向けてPRIに努めていきたい。 ▼ 希望者にはメール通信を発行し、主催事業などの広報を行った。 ▼ SNSによるリアルタイムでの情報発信を行った。 ▼ 定期的に(年6回)劇場通信(公演情報、事業案内等)をこぐま座と共同で発行し、市内公共施設、関係機関、児童会館等、及びやまびこ座近隣小学校4校へ配布した。また、公演ごとに来館者へ配布した。 ▼ 「広報さっぽろ」に毎月公演、事業情報を掲載した。 ▼ 公演情報を各報道機関等に提供する等、宣伝活動に努めた。また、チラシ・ポスターを作成し、市民への配布のほか、館内掲示を行った。 ▼ (公財)さっぽろ青少年女性活動協会発行のさっぽろ・子ども情報誌「あそぼ」に、公演情報を毎月掲載した(年6回発行)。 <p>▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継ぎ業務なし)</p>	<p>・広報活動は、劇場業務の中でも重要な役割を担っており、利用人数に大きく反映されるものである。今年度もHPのアクセス数が上昇し、利用者数の増加にも役立った。また、希望者にはメール通信を発行し、主催事業などの広報を行った。インターネットやSNSの活用によるリアルタイムでの情報発信は、市民との双方向のやりとりにも効果を発揮している。今後も、より市民の声を引き出し、ホームページでの情報提供の場として事業に反映するよう活用していくことで、更なる広報戦略を模索していく。</p> <p>・スマートフォンの閲覧数がパソコンの閲覧数を超えたという結果をふまえ、新たにスマートフォンでも閲覧しやすいホームページを作成へ向け準備を進めていく。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 今後も定期的に劇場通信を発行し、子どもが利用する公共施設等への配布を継続すること。 SNSを使って積極的に情報発信していることは評価するが、より幅広い市民に情報が伝わるよう、広報手段を検討し、今後も効果的な広報活動に努めること。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	今後も定期的に劇場通信を発行し、子どもが利用する公共施設等への配布を継続すること。 SNSを使って積極的に情報発信していることは評価するが、より幅広い市民に情報が伝わるよう、広報手段を検討し、今後も効果的な広報活動に努めること。							
A	B	C	D												
今後も定期的に劇場通信を発行し、子どもが利用する公共施設等への配布を継続すること。 SNSを使って積極的に情報発信していることは評価するが、より幅広い市民に情報が伝わるよう、広報手段を検討し、今後も効果的な広報活動に努めること。															
<p>2 自主事業その他</p>															
<p>▽ 自主事業</p>	<p>▼ 物品販売事業</p> <p>市民サービスの一環として、マスコット人形や人形劇キット、手づくりおもちゃ、オリジナルグッズ等の販売を各人形劇公演時に実施した。集客の一助、リピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図る。</p> <p>実施期間:平成28年4月1日～平成29年3月31日 販売商品:①手づくりおもちゃ(竹とんぼ、ガリガリとんぼ、ビュンビュンごま) 金額:200円 ②ハンドパペット 金額:150円～700円 ③書籍・オリジナルグッズ(やまびこ王子ラバーストラップ、ピンバッジ等) 金額100円～500円 【販売実績】 ①手づくりおもちゃ:販売個数46個 売上額9,200円 ②ハンドパペット:販売個数201個 売上額105,600円 ③書籍・オリジナルグッズ:販売個数173個 売上額43,535円</p> <p>総合計:販売個数420個 売上額158,335円</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼ 再委託、物品の調達等を行うに当たり、札幌市内の企業等を積極的に活用している。また、夏まつりにおいて、近隣の福祉施設と連携し福祉施策への配慮に努めた。</p>	<p>・市民サービスの一環として当事業を開始し、8年目を迎えた。前年度に引き続き販売商品の製作等、他団体の協力を得て実施した。今年度はこぐま座40周年記念商品を販売し、全体の売上金額が前年度比120%増になった。次年度以降手づくりおもちゃの仕入れが難しくなるため、新たなニーズの掘り起こし・新商品の考案を行って行きたい。今後も市民ニーズに合わせて物販実施日の再考や新たな商品開発を行うなど、やまびこ座の記念に残る品物を販売できるように取り組んでいきたい。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 子どもにとって身近なものを製作、販売することは、劇場の活動に対して、子どもたちがより興味を持つことにつながり、評価出来る事業である。今後も継続し、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。 </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> 今後も市内企業の積極的な活用に配慮していくこと。 </td> </tr> </table>	A	B	C	D	子どもにとって身近なものを製作、販売することは、劇場の活動に対して、子どもたちがより興味を持つことにつながり、評価出来る事業である。今後も継続し、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。				今後も市内企業の積極的な活用に配慮していくこと。			
A	B	C	D												
子どもにとって身近なものを製作、販売することは、劇場の活動に対して、子どもたちがより興味を持つことにつながり、評価出来る事業である。今後も継続し、利用者のニーズも取り入れながら、より発展させることに努めること。															
今後も市内企業の積極的な活用に配慮していくこと。															

3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果		A	B	C	D
実施方法	・観客用アンケート、利用者（劇団）アンケート、事業別参加者アンケートをそれぞれ作成し、平成28年4月～平成29年3月の期間で実施した。（※アンケート方法については、来館者へアンケート用紙を配付し、回収した。記名方式。）	<p>・アンケート結果から全体的に見て、総合満足度や接遇に関する満足度もほぼ100%と好評であった。これに甘んじることなく、今後も継続して市民サービスの意識を高め、利用者のニーズを把握し、対応していきたい。</p> <p>・広報手段として来館者の口コミ情報が最多であることから、単方向の情報提供よりも双方向の情報共有が今後、望ましいと考えられる。公演や施設の広報と合わせ、来館した方がまた来たいと感じる劇場づくりに努めていきたい。</p> <p>・どの公演でも作品内容についての感想を書いている方が多い。また、観客が希望する演目を劇団側に伝えることで、今後の作品創りに活かすようアンケートを活用していきたい。</p> <p>・劇団アンケートの結果から、職員の対応や支援体制について高い評価をいただいた。今後も引き続き、利用者と職員がよりよい関係を築いていけるよう支援していきたい。</p>			
結果概要	・アンケート結果を集約し、利用者の意見、要望、苦情、ニーズ等を把握し、施設設備、業務等の改善に反映させるよう努める。なお、回収したアンケートについては、札幌市個人情報保護条例に基づき、取り扱いに十分留意し、保管整理している。				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【観客用アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収2,093枚 ・回答者については、一番多い年代は30代で約2割と、各年代で平均して回答してくれていた。性別では女性が約7割となり、男性の回答割合が前年より上昇した。回答人数は前年よりも120名増加し、男性の観劇者も増えてきている結果が目に見えている。 ・公演情報の取得方法としては、「友人、知人」の口コミが最も多く(32%)、続いて「ホームページの利用」(12%)という結果であった。「チラシ・ポスター」も数値があがっていることから定期的に掲示している効果が出ていると考えられる。 ・観劇環境については、職員の対応が99.7%、劇場の設備についても99.3%がとても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との高い評価を得ることができた。 ・初めての来館者が26.0%で、他74.0%はリピーターである。中でも11回以上の来館者が11.8%を占めているのは、スタンプラリーやたのしませ隊事業による効果が大いと考えられる。 <p>【利用者（劇団）アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収130枚（回収率70.2%：47劇団中33劇団） ・施設サービスについては、無記入を除いて、職員の対応・施設の利用しやすさともにほぼ100%の方から、とても良い・良い・ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価を得ることができた。 ・施設の重要性への理解、文化の発展を期待する意見、職員へのねぎらいの声が多かった。 ・施設の改善要望もいくつか挙げられているので、可能な限り対応していきたい。 <p>【事業別参加者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業より、15事業（東区市民劇団育成事業、遊劇舎、劇☆やまびこ座YOUTH、ざ・にんぎょうじょうりユースクラス、こども舞台体験プログラム「ふれアート」、プロデュース公演、やまびこ座読み語りの会等）についてアンケートを実施した。290人回答。 ・事業内容については、無記入を除き、参加者の99%がとても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価をしており、講習内容については十分に満足してもらえたことが伺える。また、職員の対応や講師についても、無記入を除くと100%の参加者がとても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価だった。参加者、講師、職員がそれぞれ良好な関係を築くことができたことで事業内容の充実感につながったと考えられる。 				

4 収支状況

▽ 収支 (千円)			
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)
収入	77,101	63,039	▲ 14,062
指定管理業務収入	76,851	62,881	▲ 13,970
指定管理費	43,194	43,194	0
利用料金	8,000	5,981	▲ 2,019
その他	25,657	13,706	▲ 11,951
自主事業収入	250	158	▲ 92
支出	77,609	63,616	▲ 13,993
指定管理業務支出	77,379	63,449	▲ 13,930
自主事業支出	230	167	▲ 63
収入-支出	▲ 508	▲ 577	▲ 69
利益還元	20	▲ 9	▲ 29
法人税等	0	0	0
純利益	▲ 528	▲ 568	▲ 40

▽ 説明

- ▼ 利用料金収入は、利用料金については、利用件数の減少などから、2,019千円の減収となった。
- ▼ その他収入で、受取助成金が当初予算から減となった。理由としては想定より不採択や減額が生じたため。その分、支出を抑え収支バランス確保に努めた。
- ▼ 指定管理業務支出は、支出については、助成金等収入の減額により、事業の見直しを行うことで当初計画より14,000千円支出を抑えることができた。
- ▼ 自主事業における利益還元がマイナスになっているが、当事業は「こぐま座」と連携・共同実施しており事業費をやまびこ座で一括支出しているためマイナス計上になっている。利益還元額をこぐま座と合算するとプラス計上になる。
- ▼ 収入の減額を勘案し、支出の抑制に努めたが、純利益は▲568千円となった。

・次年度以降についても公的助成の積極的な活用や地元民間企業や市民からの協賛金を募るための事業サポーター制度は引き続き実施したい。安定的事業費の確保を目指すための方策を今後も検討していく。

・計画していた助成金が不採択・減額になったものの、活動協会内の他課との連携や他の関係団体と共催、協力することで実施。今後も将来を見据えた事業の取り組みを意識しながら他の関係機関との連携を強化し、共催事業の実施等、経費面においても効率的な事業の組み立てを積極的に行っていきたい。

A	B	C	D
事業の見直しを行うことによって、当初の計画よりも支出を減らすことができたことは評価できる。			
しかし、収支がマイナスであることから、安定的な運営に向け、改善に努めること。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 ▼ 当団体の財務状況等は、各事業実施時において収支バランス等を常に把握することで、将来へ向けた安定経営能力は選定時より向上している。	/	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 情報公開請求が0件あった。 ▼ オンブズマンの実地調査に対応した。 ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>全国で初めて建設された公立の人形劇専門劇場である札幌市こども人形劇場こぐま座が今年度、40周年を迎えることができた。全国でも珍しい子どものための専用劇場として、やまびこ座とともに札幌の児童文化の普及、発展に大きく貢献してきたことは間違いない。人材育成を根幹に据えた運営形態は全国の模範となり、やまびこ座、こぐま座に続く劇場も全国各地に建設され、とりわけアマチュアの人形劇人の育成は全国でも類を見ない成果を上げてきた。今回、『こぐま座40周年記念事業』を両施設にて協働実施することで、あらためて子ども文化施設の存在意義を数多くの市民の方々に周知できた貴重な年となった。</p> <p>①公演事業については、こぐま座40周年記念事業の効果もあり、目標の200ステージを達成することができた。初のロングラン公演として、プロデュース人形劇「OKHOTSKー終わりの楽園」の上演や海外特別公演、東区市民劇団オニオン座によるやまびこ座プロデュース公演など多彩なプログラムを提供することができた。</p> <p>②人材育成事業については、近年、人形劇、児童劇、人形浄瑠璃を中心とした子ども育成事業が充実し、将来の札幌の文化の担い手が育ってきていることを実感している。人形劇等の普及という観点からも近隣小学校へのアウトリーチ事業や砂川人形劇指導の継続実施の他、新たな取り組みとして児童会館人形劇クラブ育成事業を実施した。子どもたちの文化体験機会の創出、裾野を拡げるという観点では将来に向けて非常に意味のある事業となった。</p> <p>③創造、発信型事業として、プロデュース人形劇巡回公演を道内2カ所（網走市、稚内市）にて実現した。今後も重点項目として外に目を向けた積極的な文化発信を行い、児童文化の普及やセンター的役割、やまびこ座のPRの場としていきたい。</p> <p>④社会貢献事業としての福島県への継続文化支援活動も6年目となり、被災地の新たな課題に対し、札幌の各人形劇団や現地コーディネーターとともに地域交流や文化体験を軸とした支援策を試みながら活動を行った。文化の力を生かした心の復興事業を今後とも継続していきたい。</p> <p>⑤年々、市民ボランティアの登録数が増え、市民対応、ロビー事業の充実が図られている。主催イベントでのスタッフとしての活躍も目覚ましく、今後も大いに期待できる場所である。今年度、利用者総数が60,000人越えたことも少なからず影響していると感じる。</p>	<p>『子どもたちの笑顔をつくり、可能性をはぐくむ施設づくり』</p> <p>子どもを取り巻く社会環境の変化を見極め、子どもたちの豊かな想像性や創造力の育み、あらゆる文化体験機会の創出、世代、人種を超えた様々な人たちとの文化交流を通じた関わり、そして、そこから生まれる共生社会や国際理解といった価値を広めていくことが重要である。平成29年度は、やまびこ座、こぐま座から札幌の子ども文化の素晴らしさを内外に発信し、あらゆる関係機関、アーティストとの連携を模索しながら、人づくりを進めていく。</p> <p>1 地域社会における文化的役割と意義 全国でも数少ない公立児童文化施設としての役割は大きく、これまで構築してきた専門スキルを活かし、札幌市はもとより、全国への発信や文化支援活動を積極的に行う。</p> <p>2 人材育成と創造型の劇場運営 人形劇、児童劇、人形浄瑠璃を中心とした人材育成事業を子どもから大人まで世代を超えてつなげることで、長期的な視野に立った人材育成を継続的に行なう。劇団の育成、支援にも積極的に取り組み、多くの市民が人形劇、児童劇の魅力に触れる機会を提供する。</p> <p>3 利用者の目線での施設運営 文化芸術に対する市民の期待や多様なニーズに柔軟に対応できる職員の専門性やスキルの向上を目指す。市民サービスに対する意識をより一層高め、安定した運営、環境整備に努める。</p> <p>4 児童文化の発信基地及び文化施設としての役割の明確化 人形劇等の制作団体と協働し、より良い作品を創造発信し、舞台芸術の鑑賞する機会を増やす。全国各地への巡回公演や地域への人形劇、児童劇指導、アウトリーチ活動を積極的に行ない、人形劇の裾野を拡げる。</p> <p>5 中島児童会館との一体運営 こぐま座と中島児童会館という歴史的文化価値のある両施設が一体連携を図ることで、子どもの総合センター的役割、人材育成、子どもの健全育成に携わる市民のまなびの場、観光振興等の特色ある事業展開を行う。</p> <p>6 最小経費で最大効果を 公的助成の積極的な活用や施設利用の促進、巡回公演事業等による外部発信を積極的に進め、事業予算の確保に努める。また関係団体とのつながりを強化し、効果的、効率的な共同事業の開拓にも努めていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の維持管理、貸館業務、事業の実施、自主事業、及び施設の管理運営については全般的に適切な業務の執行がなされている。</p> <p>人形劇を始め、演劇、伝統芸能、各種育成講座や被災地支援の文化活動など、幅広い事業展開をしており、札幌市の児童文化の拠点施設として、その普及・促進に取り組んでいると評価出来る。</p>	<p>施設の設置目的を達成するため、今後とも制作団体の育成を行っていく必要があることはもちろんのこと、更なる利用者の増加及び収入の安定を図るため、引き続き市民ニーズを検証するとともに、より魅力的な創意工夫ある事業を展開していくこと。</p>